

平成27年度 予算特集号

広報
Ako City
Public
Relations



2015
Special Number
平成27年4月10日発行



「人が輝き
自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」
を目指して



- 平成27年度当初予算総額 560億5,901万円 P 2～3
- 平成27年度一般会計当初予算総額 256億5,000万円 P 4～5
市民ひとりあたりの予算額
- 5本の柱ごとの主要施策 P 6～15
- 写真でみる予算 P 16

一人が輝き 自然と歴史・文化が 薫る やさしいまちを目指して

平成27年第1回赤穂市議会定例会において、新年度予算案をはじめとする諸議案が成立しました。3月4日に明石市長が表明した施政方針に沿って、主要な施策の概要と予算のあらましについてお知らせします。



はじめに、去る1月18日に執行されました市長選挙におきまして、市民の皆様のご信託をいただき、第7代赤穂市長として、この赤穂市のまちづくりを託されましたことは、大変光栄であると同時に、その責任の重大さに改めて身の引き締まる思いがいたしているところであります。

本市は、縄文・弥生時代の遺跡や忠臣蔵ゆかりの遺産などが示しますように、歴史・文化の薫り高く、現代にいたるまで着実に発展を遂げてまいりました。そこには、常に市民の皆様をはじめ先輩諸氏の弛まぬ努

力が今日の赤穂市を築き上げてきたといっても過言ではありません。この赤穂市の魅力をさらに磨き上げ、後世に引き継いでいくとともに、誰もが「任んでみたい」と思えるようなまちづくりを目指してまいります。

赤穂で生まれ育った私にとりまして、ふるさと赤穂を愛する気持ちは誰にも負けないと自負しておりますが、市民一人ひとりが、さらにこのまちを愛し、このまちに誇りを持っていただけるよう全身全霊で邁進してまいります。

さて、我が国は急速な高齢化と人口減少が同時進行する、未だかつて経験したことのない時代を迎えており、従来の制度や仕組みがうまく機能しなくなる中、それぞれの地域において住みよい環境を確保し、将来

にわたって活力ある社会を維持していくため、「まち・ひと・しごと」の創生が重要となっております。

本市におきましても、いかに人口減少に歯止めをかけ、地域を維持・活性化させていくか、議員の皆様や市民の皆様とともに知恵を絞り、新たな取組にも挑戦していかねければなりません。

市民の皆様の声は、市役所ですべて届きません。私や職員が率先して地域に向いて、市民の皆様との対話を通じて情報を収集し、それを施策に反映することが市民本位の行政運営の基本だと考えております。

今後の市政運営にあたりましては、市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、議論しながら、私が、これまで培ってきた40年余の行政経

験を活かすとともに、「信念と情熱」「誠実と信頼」「創造と改革」を信条に、総合計画の都市像である「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」を目指して、時代の変化に即応し、スピード感をもった行政を次の3点を基本に推進してまいります。

少子高齢化・人口減少社会に対応するまちづくり

昨年11月、人口が5万人を割り込み、多くの地方自治体の例に漏れず、少子高齢化の進行に伴う急速な人口減少の波は、本市においても顕著となってきています。この人口減少に歯止めをかけるためには、若者が定住し、安心して子どもを産み育てることができ環境を整える必要があります。そこで、「若者世帯住宅取

得支援事業」を創設し、定住促進を拡充します。また、「第3子いきいき子育て応援事業」「チャイルドシート購入費助成事業」を創設するとともに、子ども・子育て支援新制度における保育料は公立・私立に関わらず、現行より約10%軽減するほか、アフタースクールの対象学年を小学6年生まで拡大するなど、子育て支援の更なる充実を図ります。

にぎわいと活力のあるまちづくり

豊かな自然とスポーツ交流が奏でるスポーツ・レクリエーション拠点として、赤穂元緑スポーツセンター・赤穂海浜スポーツセンターとの一体的な機能向上によるにぎわいづくりを図るため、新たに「(仮称)みなとひろば」を整備します。

策定に取り組みます。

以上、市政運営にあたっての基本的な考え方と主な事業について述べましたが、次に、新年度の市政推進にあたっての財政計画について説明します。

今日の我が国の経済は、回復基調が続いており、先行きについても、各種政策の効果も見られることから、景気は緩やかに回復していくことが期待されていますが、海外景気の下振れなどによって、我が国の景気が下押しされるリスクが存在するとされております。このような状況下、国

においては、「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」を盛り込んだ補正予算が成立するとともに、経済再生と財政再建の両立を基本的な考え方とした総額約96兆3千億円の平成27年度一般会計予算が編成されたところであります。

こうした情勢の下、本市の財政状況については、喫緊の課題となっている小・中学校耐震対策補強事業や

幼稚園舎の改築をはじめ、赤穂すこやかセンターの整備や都市再生整備事業など継続事業の着実な推進を図る必要がある中、地方交付税や臨時財政対策債の減少によって、一般財源の伸びが見込めないため、基金を大幅に取り崩さざるを得ない厳しい財政環境に置かれているところであります。このため、市有地の売却等をはじめ積極的な歳入の確保を図るほか、これまで精力的に取り組んできた行政改革を継承し、事務事業全般にわたるコスト意識の徹底により、行政経費の節減に努めます。

また、地方創生を掲げる地方財政対策の動向に十分に留意し、新たな施策の展開を視野に入れながら、優先順位の検討、選択と集中を行う中で、限られた財源の重点的かつ効率的な配分を行い、後年度を見据えた財政の健全性の確保に努めたいと考えています。

次に、赤穂市総合計画の五つの柱に沿って、その概要を説明します。

平成27年度当初予算額

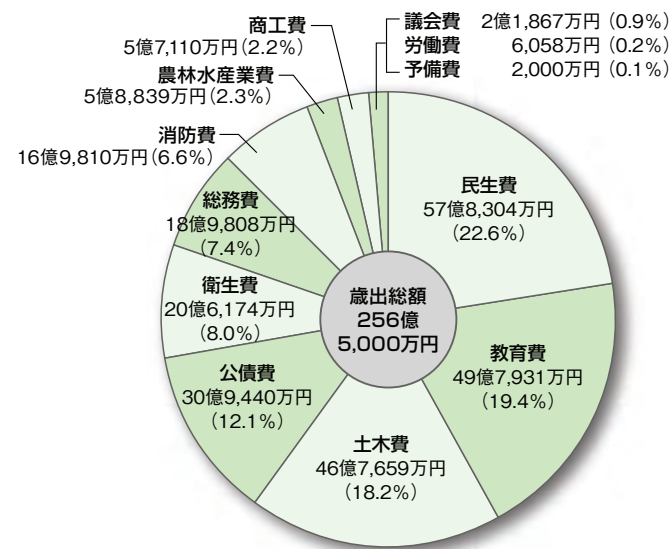
560億5,901万円

●各会計別予算額

会計区分	平成27年度当初予算額	平成26年度当初予算額	前年度比(%)	
一般会計	256億5,000万円	229億3,000万円	11.9	
特別会計	国民健康保険事業	64億6,700万円	56億6,600万円	14.1
	職員退職手当管理	6億9,840万円	6億540万円	15.4
	公共下水道事業	41億9,880万円	43億4,350万円	△ 3.3
	農業集落排水事業	3億920万円	3億180万円	2.5
	墓地公園整備事業	1,200万円	1,190万円	0.8
	介護保険	39億6,390万円	36億9,920万円	7.2
	駐車場事業	1億2,750万円	1億2,340万円	3.3
	後期高齢者医療保険	6億6,460万円	6億4,340万円	3.3
	小計	164億4,140万円	153億9,460万円	6.8
	企業会計	病院事業	112億6,461万円	125億3,175万円
介護老人保健施設事業		4億9,079万円	3億5,747万円	37.3
水道事業		22億1,221万円	22億4,414万円	△ 1.4
小計		139億6,761万円	151億3,336万円	△ 7.7
合計	560億5,901万円	534億5,796万円	4.9	

歳出

歳出面では、人口減少社会における地方創生の動きに的確に対応するため、子育て支援対策、地域活性化対策に係る施策について、重点的に配分を行うとともに、耐震並びに防災対策の推進等、安全・安心対策に係る施策について重点的な配分を行いました。

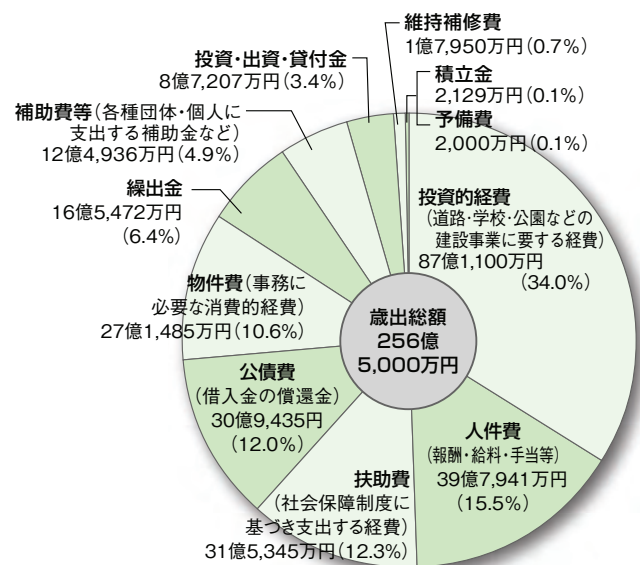


目的別内訳

各行政目的別、つまり各部課ごとの仕事の内容によって分類され、これにより各部課ごとの経費の比重を知ることができます。

性質別内訳

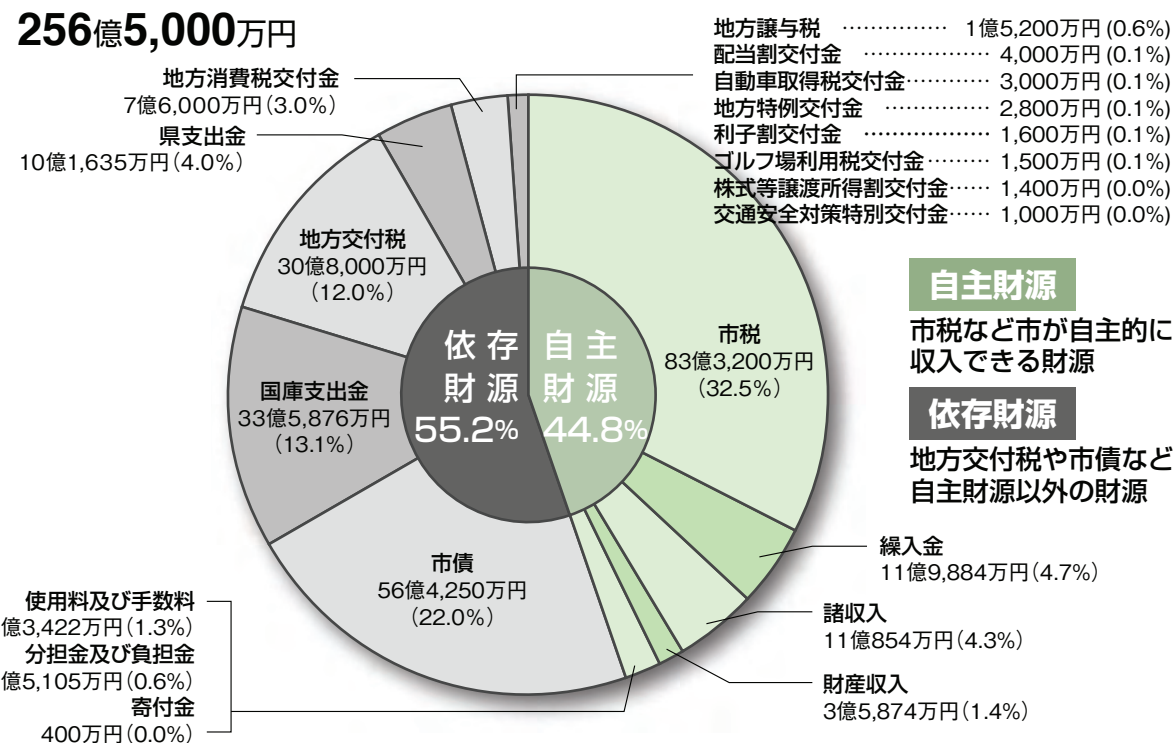
経済的性質を基準として分類され、これにより経費の構造や財政体質を知ることができます。



歳入

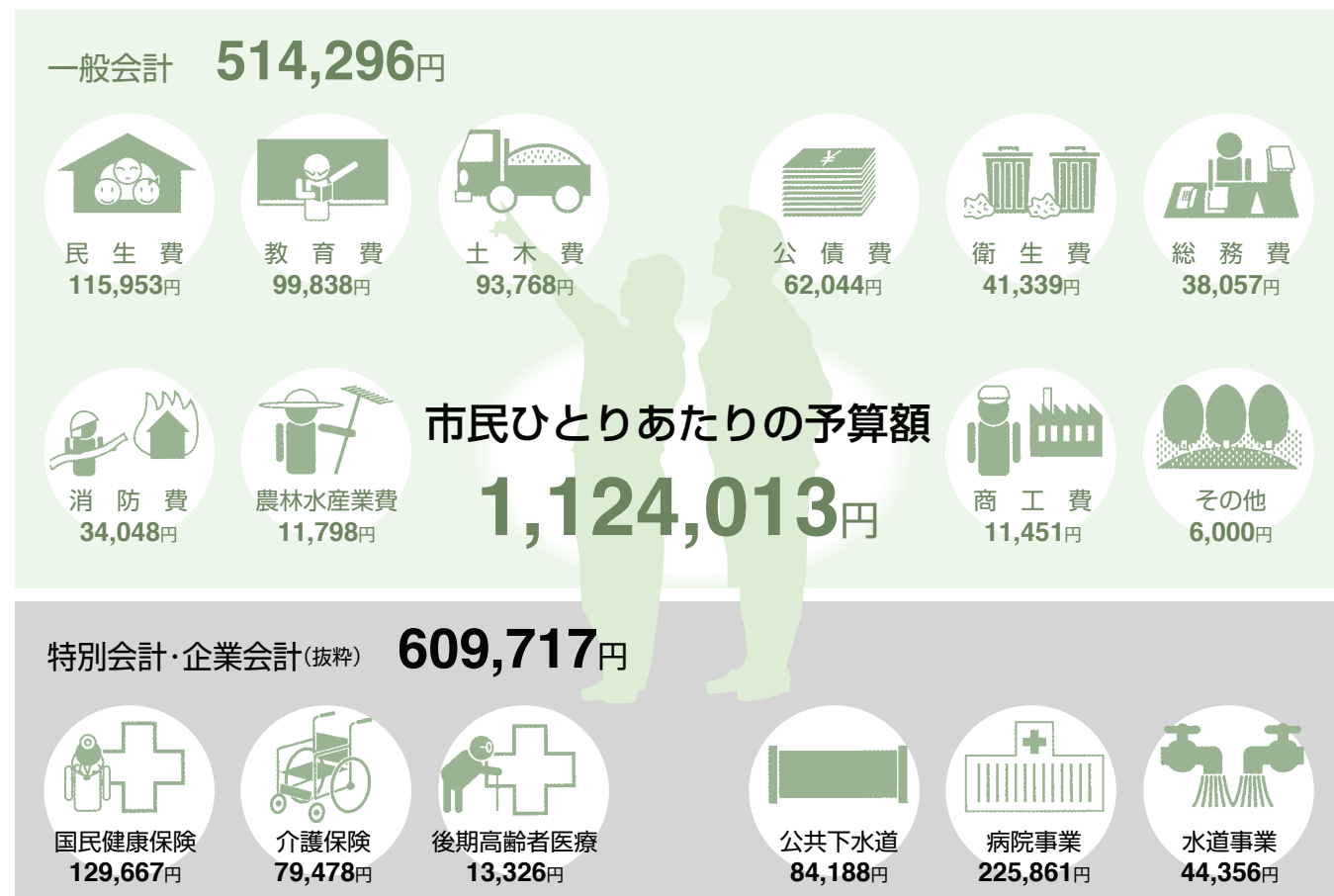
歳入面では、消費税引き上げに伴う地方消費税交付金の増収が見込まれるものの、固定資産税の評価替え等に伴う市税収入の減に加え、地方交付税に臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税総額の減額などにより、一般財源の伸びが見込めないなど、引き続き厳しい財政状況であり、財政調整基金や市債管理基金などの基金から10億2,000万円を繰り入れることにより財源を確保しました。

歳入総額 256億5,000万円



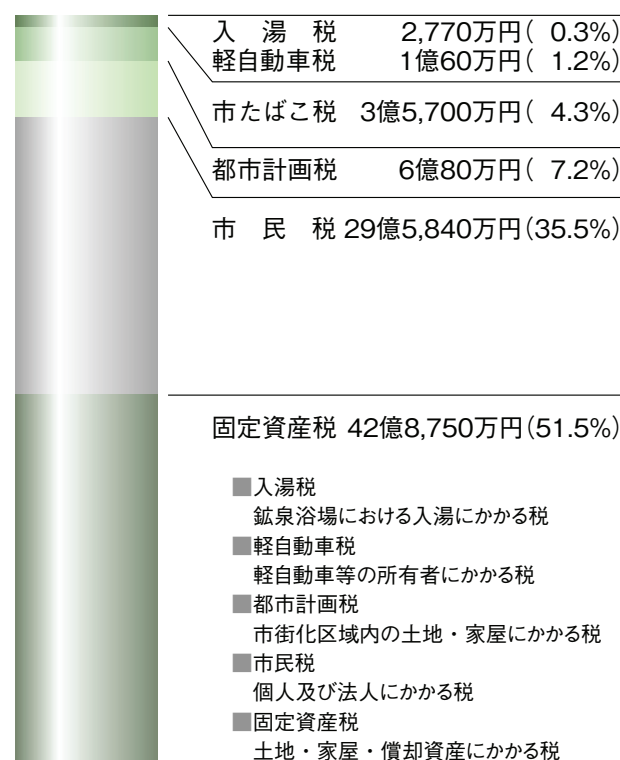
256億5,000万円

平成27年度 一般会計予算

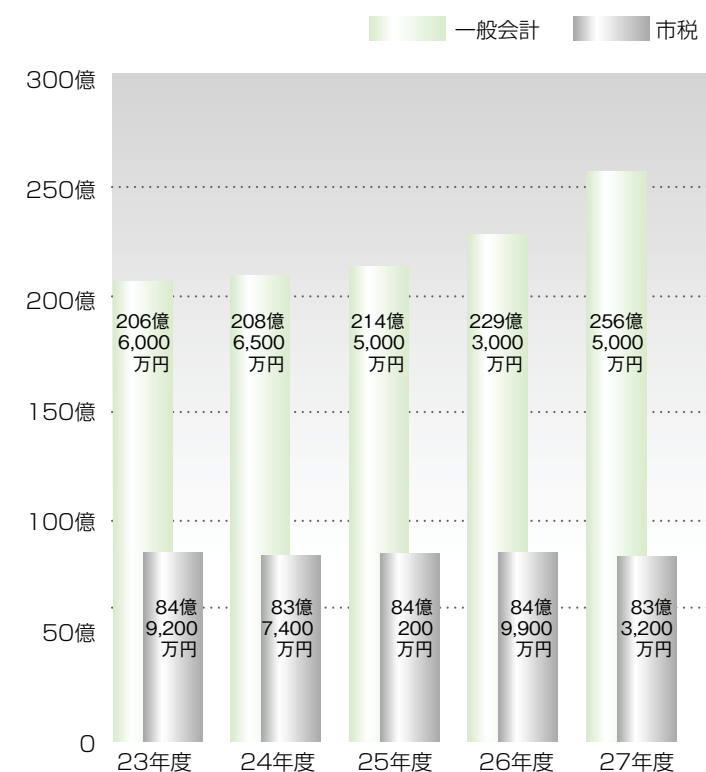


(平成27年2月末現在の人口49,874人で計算したものです)

市税の内訳 総額83億3,200万円



年度別当初予算額と市税の推移



5本の柱ごとの主要施策

「人が輝き 自然と歴史・文化が薫るやさしいまち」を実現するための市政の5つの柱、「安全・安心に生活できるまち」「自然と共生する住みよいまち」「産業と交流が盛んな活力あるまち」「生涯にわたり夢を育むまち」「市民と行政がともに歩むまち」に沿って順次ご紹介します。

第1の柱

安全・安心に生活できるまちづくり

おもいやりに満ちた福祉社会の構築

少子高齢化が急速に進展する中、市民が安心して暮らせる「ユニバーサル社会」の実現に向け、すべての人にやさしいまちづくりを進めることが求められています。

このため、地域福祉計画に基づき、社会福祉協議会等関係機関との連携を深め、総合的な福祉施策や地域で相互に助け合う地域福祉活動を推進するほか、施設整備として、引き続き市道の段差解消や赤穂城跡内の園路改修などを実施します。

児童福祉については、子ども・子育て支援新制度の開始にあたり、安心して子どもを産み育てることができ、すこやかに成長できる環境の充実を図る必要があります。このため、3人以上の子

を養育する保護者への経済的負担を軽減する「第3子いきいき子育て応援事業」や、「チャイルドシート購入費助成事業」を創設します。さらに、保育所・幼稚園を利用される保護者の経済的負担を軽減するため、子ども・子育て支援新制度における保育料を公立・私立に問わず、現行より約10%軽減するとともに、アフタースクールの対象学年を小学6年生まで拡大するほか、延長保育、一時預かり事業などの保育サービスや幼児2人同乗用自転車購入助成などを引き続き実施します。

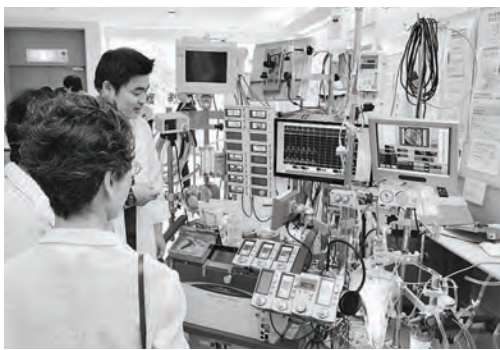
母子家庭等への支援策としては、高等職業訓練促進給付などを実施し、引き続き就業支援を行います。

障がい者福祉については、障がい者福祉長期計画に基づき、体系的に推進するほか、介護給付や訓練等給付などの障がい福祉サービスの提供、地域生活支援事業としての理解促進研修・啓発、相談支援や地域活動支援センターへの事業

補助などを行います。

高齢者福祉については、高齢者等が要支援・要介護状態にならないよう地域包括支援センターと在宅介護支援センターとの連携により、介護予防事業を推進するほか、認知症カフェ推進事業や緊急通報システム事業などの地域支援事業を引き続き実施するとともに、新たに高齢者等の権利擁護を推進するための市民後見人養成講座を開設します。

国民健康保険制度については、急速な高齢化の進展、疾病構造の変化や医療技術の高度化等により、医療費が高い水準で推移する中、特定健康診査等事業の実施



による生活習慣病の予防対策を行うとともに、健診受診率の向上を図り、被保険者の健康増進に努めます。介護保険制度については、平成27年度から平成29年度までにおける要介護認定者数及び各サービス利用者数、サービス給付費等の推計に基づき、第6期介護保険事業計画期間における65歳以上の方の保険料の基準月額を5,100円としています。

後期高齢者医療制度については、兵庫県後期高齢者医療広域連合と連携し、保険料の徴収、各種申請の受付等、市民の皆様の窓口としての役割を果たします。

生活困窮者対策としては、新たに生活相談等を行うための相談支援員を配置し、社会的自立及び生活自立への支援を行います。人権文化の創造については、あらゆる差別や人権問題を解消するための教育・啓発活動に取り組み、市民一人ひとりが、すべての人の人権を尊重する社会の構築に努めます。

また、地震対策として、住宅の耐震化が有効であることから、引き続き簡易耐震診断推進事業を行うほか、新たに戸建住宅の建て替えや防災ベッドの購入助成を実施します。

消防・救急体制の充実・強化については、赤穂消防署の高規格救急車の更新、通信指令設備の更新などを行うほか、非常備消防体制については、第14分団消防ポンプ自動車の更新、第4分団詰所移転新築工事及び第6分団詰所改修工事並びに団員の活動環境の整備と安全確保に必要な装備品の充実を図ります。

次に、交通安全対策については、危険箇所や通学路を中心に、転落防止柵やカーブミラーなど、交通安全施設の整備を進めます。防犯対策については、LED照明による公共灯の設



保健・医療サービスの充実

健康づくりの推進体制については、関係機関と連携しながら健康への意識啓発を図り、生涯にわたる健康づくりを推進します。

このため、生活習慣病予防を目的とする特定健康診査や胃がんをはじめ各種のがん検診を行うほか、必要な方には積極的支援・動機づけ支援などの保健指導を継続して実施するとともに、健康相談の充実に努めます。

女性のがん検診については、特定年齢層への無料クーポン券の配布に加え、過去の未利用者への受診勧奨を行うなど、引き続き受診率の向上に努めます。

また、育児健康支援事業を通じて、乳幼児の疾病の早期発見、早期治療に取り組みます。

施設整備については、健康づくりと子育て支援機能を包括した赤穂すこやかセンターの建設に着手します。

施政方針にみる 新年度の主要施策と予算のあらまし

病院事業については、昨年12月に西播磨では初めてとなる地域医療支援病院に指定されたところであり、今後さらに、診療所など地域の医療機関との連携強化に努めます。また、診療体制については、診療科によってばらつきはありますが、医師数は若干の増加が見込まれるほか、修学資金の貸付効果等により看護師も増員が図れる見込みであり、地域の中核病院として一層の充実に向けて取り組みます。一方、新棟建設や最新医療機器の導入などを行う「第二期基本構想」については、現在、基本設計を行うとともに駐車場の立体化を進めているところであり、引き続き実施設計を進め、建設工事に着手します。さらに、利便性の向上策として、人工透析患者の送迎サービスを行います。介護老人保健施設については、施設利用者の安全・安心対策及び今後の事業拡大を図るため、施設の増築・改修工事を行います。

生活の安全・安心の確保

台風や地震・津波などの自然災害をはじめ、新型コロナウイルス感染症、子どもの安全確保、消費生活の安全・安心対策など、日常生活における安全・安心に対する市民の関心が一段と高まっています。



そのため、更なる防災行動力の向上を目指し、地域の皆様を中心とした自主防災組織による防災総合訓練やコミュニケーション防災訓練を継続して実施します。また、昨今の局地的な災害に対応するため、防災行政無

施政方針にみる 新年度の主要施策と予算のあらまし

果等の情報を発信するため、新たに環境情報システムを構築し、積極的な情報提供や啓発活動に努めます。

福浦地区の最終処分場設置計画については、去る2月7日に、自治会連合会等の団体が参加する「福浦地区産業廃棄物最終処分場建設反対 赤穂市民の会」の総

このため、生活環境づくりについで、本市の貴重な水源である千種川水系の環境監視体制の充実を図るほか、市民の皆様にも、大気や水質等に関する環境調査結果等の情報を発信するため、新たに環境情報システムを構築し、積極的な情報提供や啓発活動に努めます。

福浦地区の最終処分場設置計画については、去る2月7日に、自治会連合会等の団体が参加する「福浦地区産業廃棄物最終処分場建設反対 赤穂市民の会」の総

地球温暖化対策については、引き続き住宅用太陽光発電システムを設置する費用の一部を助成するほか、庁舎内におけるLED照明器具の設置、庁用車等へのハイブリッド車の導入も進めます。また、学校園施設への太陽光パネル設置など、低炭素社会に向けた取



また、危険空き家等の適正な維持管理についても取り組みます。

水道事業については、「赤穂市水道ビジョン」に基づき、事業を着実に推進します。また、安全で良質な水を安定的に供給していくため、新たに北野中浄水場に非常用自家発電設備を設置するほか、導水管、配水管の改良及び老朽配水池の更新などに取り組みます。

都市環境の整備については、赤穂城跡公園において、文化財保存整備と合わせ二之丸庭園の整備を進めるほか、野中・砂子公園の用地取得や赤穂城南緑地野球場の整備、テニスコート整備に向けての実設計などにも取り組みます。

また、JR坂越駅周辺については、引き続き坂越駅周辺地区都市再生整備事業を実施し、併せて子育て環境の充実と健康づくりを推進するため、赤穂すこやかセンターの建設工事に着手するほか、JR有年駅周辺についても、有年駅周辺地区都市再生整備事業を継続実施します。

第2の柱 自然と共生する 住みよい まちづくり

私たちは、「環境進化都市・赤穂」の実現に向け、市民、事業者、行政が一体となって、持続可能な環境づくりに取り組む必要があります。

会及び決起集会が開催され、多くの市民の皆様から「建設反対」の強い意思が示されたところであります。

私も、市長としてこの計画には「反対」であり、環境部門の組織を強化して適確に対応したいと考えています。

生活環境の整備については、公共下水道整備として、有年地区などにおける土地区画整理地内の雨水及び汚水管渠等の整備や御崎ポンプ場の改築工事、下水管理センター電気設備の更新などを行うほか、特定環境保

組を推進します。

ごみ処理施設の整備については、3年計画の最終年次として、ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設の大規模改修を実施するほか、ごみ処理の広域化の方向性についても調査を進めます。

また、ごみ出し困難者対策として、新たに「訪問収集サービス」を実施します。

ごみリサイクル推進については、引き続き資源ごみ回収団体への助成等を行うほか、施設管理の効率化を図るため、美化センターに資源ごみのストックヤード等を整備します。

魅力ある都市空間の 形成

住環境の整備については、尾崎地区の密集住宅市街地整備促進事業、塩屋地区の地域住宅等整備事業を引き続き推進し、防災対策の促進に努めます。

公営住宅の環境整備としては、市営住宅長寿寿命化計画に基づき、塩屋団地及び塩屋西団地の施設整備工事を実施します。

また、尾崎・御崎地区都市再生整備事業において、5カ年計画の最終年次として唐船山及び(仮称)みなとひろば等の整備を進めます。

さらに、坂越景観形成地区の歴史的なまちなみを保全するため、船岡公園の石積み改修などを実施します。

質の高い都市機能の 整備

土地利用については、有年原、有年牟礼、有年横尾地区において、地籍調査事業を実施します。

土地区画整理事業については、有年地区、野中・砂子地区及び浜市地区において、区画道路築造工事など、事業の進捗を図ります。

また、JR坂越駅周辺については、引き続き坂越駅周辺地区都市再生整備事業を実施し、併せて子育て環境の充実と健康づくりを推進するため、赤穂すこやかセンターの建設工事に着手するほか、JR有年駅周辺地区都市再生整備事業を継続実施します。

安全・安心に生活できるまち

★印=新規(拡充)事業 (1万円未満四捨五入)

- ### おもいやりに満ちた福祉社会を築く
- ①みんなで支え合う地域福祉を進める
 - 地域総合支援システム推進事業……165万円
 - 民間福祉活動活性化促進事業……374万円
 - ユニバーサル社会づくり推進事業……68万円
 - 福祉のまちづくり推進事業……1,650万円
 - ②子育てしやすい環境をつくる
 - 子育て支援事業……1億1,947万円
 - ★アフタースクール子ども育成事業(3,754万円)★アフタースクール整備事業(5,520万円)▷子育て家庭ショートステイ事業(16万円)▷キンダースクール子ども育成事業(81万円)▷絵本文庫整備事業(12万円)▷幼児2人同乗用自転車購入助成事業(180万円)▷子育て情報携帯システム事業(66万円)★チャイルドシート購入費助成事業(100万円)▷ファミリーサポートセンター事業(180万円)▷保育所子育て支援機能充実事業(14万円)▷要保護児童対策地域協議会推進事業(44万円)▷出産費助成事業(1,900万円)★子育て啓発事業(80万円)
 - ★第3子いきいき子育て応援事業……1,300万円▷子育て応援商品券支給(出産祝金5万円、小・中学校入学祝金各3万円)
 - ・児童手当……8億2,350万円
 - ・母親クラブ補助金……105万円
 - ・母子家庭就業支援事業……362万円
 - ★私立施設等教育・保育給付費……7,880万円
 - ・保育所運営費(事業経費)……4,032万円
 - ・保育士確保対策事業……15万円
 - ・多子世帯保育料軽減事業……86万円
 - ・出迎いの広場事業……40万円
 - ・児童遊園地整備事業……370万円
 - ・子育てバリアフリー化事業……90万円
 - ・児童館整備事業……116万円
 - ・保育所整備事業……495万円
 - ★一時預かり所整備事業……210万円▷赤穂すこやかセンター内の一時預かり事業における備品等整備
 - ③障がい者が自立しやすい環境をつくる
 - ・自立支援給付……8億3,030万円▷介護給付等支給事業(7億8,600万円)▷障害者(児)補装具給付事業(1,130万円)▷自立支援医療費支給事業(3,300万円)
 - ・障害者(児)福祉推進事業……1,609万円▷経済支援事業(1,395万円)▷日常生活支援事業等(214万円)
 - ・障害者地域生活支援事業……5,430万円
 - ・心身障害児療育事業……978万円▷あしたば園事業(790万円)▷西播磨療育事業負担金(188万円)
 - ・障がい者虐待防止対策支援事業……57万円
 - ・障がい者スポーツ普及事業……60万円
 - ・障がい者就労施設等支援事業……27万円
 - ・軽・中度難聴児補聴器購入費等助成事業……20万円
 - ・障害福祉サービス事業所整備事業……220万円
 - ④高齢者が安心して暮らせる環境をつくる
 - ・高齢者福祉対策事業……1,041万円
 - ・介護支援事業……794万円▷ヘルプサービス充実事業(306万円)▷生きがいデイサービス事業(450万円)▷介護サービス利用者負担軽減措置事業外(38万円)
 - ・高齢者住宅改修助成事業……809万円
 - ・ねたきり老人等対策事業……25万円

- ・老人福祉センター利用促進事業……84万円
 - ・在宅介護支援センター運営委託事業……560万円
 - ・ひとり暮らし老人等火災警報器購入助成事業……8万円
 - ・敬老長寿ふれあい事業……964万円
 - ・高齢者を見守る支えるネットワーク推進事業……193万円
 - ・介護老人保健施設整備事業……1億4,859万円
 - ・介護保険事業
 - 保険給付サービス……37億5,110万円▷介護サービス等(33億1,750万円)▷介護予防サービス等(1億8,930万円)▷高額介護サービス(7,690万円)▷特定入所者介護サービス等(1億6,740万円)
 - 地域支援事業……7,699万円▷介護予防事業(883万円)▷包括的支援事業(4,644万円)▷任意事業(2,172万円)サービス事業……1,824万円
 - ⑤社会保障制度を適切に運営する
 - ・セーフティネット支援対策事業……67万円
 - ・被保護者就労支援事業……274万円
 - ・福祉医療費等助成制度の充実……4億1,011万円▷母子家庭等医療費(2,305万円)▷乳幼児等医療費(2億2,145万円)▷老人医療費(1,728万円)▷重度障害者医療費(6,021万円)▷高齢重度障害者医療費(8,271万円)▷小児特定疾患医療費(120万円)▷未熟児養育医療費(421万円)
 - ・他公費負担医療費助成事業……61万円
 - ★生活困窮者自立支援事業……530万円▷相談支援員の設置、住居確保給付金の支給
 - ⑥お互いが尊重し合えるまちをつくる
 - ・人権啓発事業……139万円
 - ・隣保館整備事業……60万円
- ### 保健・医療サービスを充実する
- ①生涯にわたる健康づくりを進める
 - ・健康づくりの推進……540万円
 - ・予防接種費用助成事業……253万円
 - ・新型インフルエンザ感染防止対策事業……[再掲80万円]
 - ・母子保健対策の推進……843万円▷子育て応援隊活動事業(104万円)▷育児健康支援事業(169万円)▷母子訪問指導(68万円)▷乳幼児健診(420万円)▷むし歯予防対策事業(83万円)
 - ・健康増進対策の推進……9,914万円▷特定保健指導(情報提供、動機づけ支援、積極的支援に区分して指導・664万円)▷健康診査(生活習慣病健診、女性のがん検診外・9,160万円)▷歯科健診(歯周病健診・90万円)
 - ・健康診査費等助成事業……3,872万円▷妊婦健康診査費(3,069万円)▷産婦健康診査費(80万円)▷乳児健康診査費(282万円)▷特定不妊治療費(442万円)
 - ・健康管理システム運用経費……555万円
 - ・あこう食育推進事業……65万円
 - ・赤穂すこやかセンター整備事業……[再掲7億6,360万円]
 - ▷子育て支援活動センター等を併設した保健福祉施設の整備
 - ・国民健康保険税
 - ★課税限度額・税率の改正
 - ▷医療分・後期高齢者支援金分(負担軽減を図るため、財政調整基金から1,300万円繰入れ)
 - ▷介護納付金分(負担軽減を図るため、一般会計から5,400万円繰入れ)

- ②安心できる地域医療体制をつくる
 - ・休日急患診療委託料……378万円
 - ・西播磨病院群輪番制運営委託事業……2,011万円
 - ・市民病院整備事業……5億9,109万円▷第二期基本構想の推進 実施設計(5,616万円)▷施設整備・医療機器整備(5億3,493万円)
- 生活の安全・安心を確保する
- ①災害に強いまちをつくる
 - ・大規模災害対策用消防資材整備事業……120万円
 - ・西播磨広域防災備蓄物資整備事業……100万円
 - ・救援物資対策経費……55万円
 - ・コミュニティ防災訓練経費……48万円
 - ・防災総合訓練経費……100万円
 - ・防災意識普及啓発事業……21万円
 - ・被災者支援システム運営経費……23万円
 - ・ひょうご防災ネットワーク運営経費……145万円
 - ・地域防災計画改定事業……200万円▷地震・津波対策外
 - ・耐震改修促進事業……495万円▷簡易耐震診断(120万円)▷住宅耐震改修助成(45万円)★防災ベッド等設置費補助(30万円)★住宅建替工事費等補助(300万円)
 - ・新型インフルエンザ感染防止対策事業……80万円
 - ・河川改修事業……1,400万円
 - ★折方川護岸改修工事外
 - ・基幹水利施設ストックマネジメント事業……[再掲5,025万円]
 - ・農村地域防災減災事業……[再掲1,748万円]
 - ・老朽ため池整備事業……[再掲240万円]
 - ・治山事業……880万円▷周世地区外
 - ★里山防災林整備事業……205万円▷防災施設整備(東有年地区)
 - ・急傾斜地崩壊対策事業……1,000万円▷目坂地区、有年横尾地区
 - ・防災行政無線整備事業……2億9,394万円
 - ★気象観測システム運営経費……129万円▷システム利用料 10地点
 - ★避難所等防災施設整備事業……160万円▷避難所トイレ対策として各小学校に井戸の設置
 - ・耐震対策補強事業……[再掲6億3,150万円]
 - ・幼稚園舎改築事業……[再掲15億9,800万円]
- ②消防・救急救助体制を充実する
 - ・消防団員安全装備品整備事業……390万円
 - ・救急業務高度化推進事業……943万円
 - ・AED整備事業……306万円
 - ・救助用装備整備事業……170万円
 - ・消防施設整備事業……4億3,441万円▷消防ポンプ自動車(第14分団)▷高規格救急車(赤穂消防署)▷通信指令設備整備▷消防団詰所整備(第4分団詰所移転新築工事外)▷小型動力ポンプ整備事業(有年原地区外)、消火栓設置
- ③交通安全・防犯意識を高める
 - ・自主防犯活動推進事業……41万円
 - ・暴力団対策事業補助金……98万円
 - ・地域サポート安全対策事業……144万円
 - ・交通安全施設等整備事業……965万円
 - ・公共灯整備事業……330万円
- ④消費生活の安全を守る
 - ・消費者行政活性化事業……297万円
 - ・リサイクル運動推進事業……[再掲48万円]

生涯にわたり夢を育むまち

★印＝新規(拡充)事業 (1万円未満四捨五入)

教育環境を整える

①幼児・義務教育を充実する

★教育振興基本計画検討事業 ……67万円

- ▷検討委員会開催外
- ・新教育課程研究推進事業外 ……146万円
- ・教育研究所経費 ……130万円
- ・コミュニティ・スクール推進事業 ……38万円
- ・命を守る教育推進事業 ……47万円
- ・キャリア教育推進事業 ……210万円
- ・子どものちから応援事業 ……90万円
- ・心いきいき推進事業 ……980万円
- ・いじめ・暴力問題等防止対策推進事業 ……229万円

★基礎学力向上推進事業 ……15万円

★グローバル化教育推進事業

- ……[再掲2,316万円]
- ・コンピュータCAI研究奨励事業 ……221万円
- ・情報教育推進事業 ……[再掲7,710万円]
- ・地域サポート安全対策事業 ……[再掲144万円]
- ・読書指導の振興と図書整備事業 ……502万円

★新学習指導要領対応教材整備事業

- ……300万円
- ▷新教科書対応の指導用準拠教材の購入
- ・幼稚園預かり保育事業 ……4,250万円
- ・幼稚園未就園児保育事業 ……46万円
- ・放課後子ども教室推進事業 ……245万円
- ・多子世帯保育料軽減事業 ……53万円
- ・学校給食モニタリング事業 ……23万円
- ・学校給食標語コンテスト開催経費 ……20万円

★デジタルテレビ整備事業 ……565万円

- ・耐震対策補強事業 ……6億750万円
- ・大規模改造事業 ……4億5,990万円
- ・太陽光パネル設置事業 ……5,010万円
- ・坂越中学校整備事業 ……2,500万円
- ・幼稚園舎改築事業 ……15億9,800万円
- ・給食センター整備事業 ……1,920万円

②特別支援教育を充実する

- ・特別支援教育推進事業 ……1,908万円
- ▷特別支援教育指導補助員配置事業

▷特別支援教育振興事業

- ★特別支援教育ICT推進事業
- ・特別支援教育事業(8幼稚園) ……1,800万円

③信頼される学校園づくりを進める

- ・教育委員会だより発行事業 ……29万円
- ・「トライやる・ウィーク」推進事業 ……352万円
- ・環境体験事業 ……175万円
- ・中学生地域貢献活動推進事業 ……40万円

④若い力を健全に育成する

- ・青少年健全育成推進事業 ……177万円

生涯学習・スポーツ活動を推進する

①生涯学習を充実する

- ・生涯学習推進専門員設置事業(1名) ……186万円
- ★子育て学習活動推進事業 ……462万円
- ▷地域の子育て家庭に対する育児支援(子育て講座外)
- ・公民館活動の充実 ……735万円
- ・高齢者にやさしい公民館づくり事業 ……100万円
- ・図書館事業の普及 ……3,324万円

★図書落下防止対策事業外

- ・公民館整備事業 ……1,980万円
- ・市民会館整備事業 ……930万円
- ・耐震対策補強事業 ……2,400万円
- ▷耐震対策補強工事(尾崎公民館)
- ▷実施設計(★市民会館)

②スポーツ活動を推進する

- ★耐震診断推進事業 ……1,400万円
- ▷市民総合体育館
- ★非構造部材耐震対策 ……780万円
- ▷吊り天井対策調査点検 地区体育館9館
- ・市民総合体育館及び城南緑地運動施設等管理委託金 ……6,780万円
- ・体育振興事業(体育協会補助金外) ……190万円
- ・スポーツ先進都市推進事業 ……330万円
- ・スポーツ推進計画促進事業 ……73万円
- ・忠臣蔵旗少年剣道大会(第27回) ……230万円

- ・近畿高等学校剣道選抜大会(第9回) ……100万円
- ・赤穂義士杯青少年柔道大会(第9回) ……100万円
- ・赤穂義士旗争奪親善ゲートボール大会(第20回) ……5万円
- ・坂越湾ヨットレース(第6回) ……10万円
- ・赤穂シティマラソン大会開催経費(第5回) ……1,800万円
- ・赤穂市長旗争奪少年野球大会開催経費(第2回) ……25万円
- ・体育施設整備事業 ……790万円
- ・野外活動センター整備事業 ……236万円
- ・尾崎・御崎地区都市再生整備事業 ……[再掲1,909万円]

個性ある地域文化を創造する

①歴史・伝統文化を継承し活用する

- ・地域文化財調査事業 ……131万円
- ・市史等編さん事業 ……351万円
- ・文化財保存顕彰事業 ……20万円
- ・文化財普及活用事業 ……189万円
- ・文化財公開活用事業 ……470万円
- ★赤穂城跡史跡土地買上事業 ……1,635万円

▷用地取得外

- ・赤穂城跡整備事業 ……2,900万円
- ・赤穂城跡公園整備事業 ……[再掲6,900万円]
- ・埋蔵文化財調査事業 ……780万円
- ・文化財施設整備事業 ……590万円
- ・民俗資料館整備事業 ……300万円
- ・歴史博物館整備事業 ……380万円
- ★海洋科学館整備事業 ……2,000万円

②文化芸術活動を推進する

- ・文化会館自主事業助成(文化とみどり財団補助) ……2,323万円
- ・赤穂国際音楽祭開催事業 ……1,700万円
- ・文化会館整備事業 ……850万円



極的に行うとともに、義士祭についても、市民と一体となって観光客の誘致に努めます。

就労環境の整備については、高齢者就業機会確保事業への助成などを行い、勤労者福祉の増進に努めます。

多様な交流の推進

広域連携については、東備西播定住自立圏形成推進協議会をはじめ、西播磨市町長会、兵庫岡山両県境隣接市町村地域振興協議会などを通じて、近隣市町村との連携を推進します。

なお、姫路市を中心とした「連携中核都市圏構想」への参加については、引き続き姫路市との連携協約の締結に向けて協議してまいります。

地域間交流については、笠間市及び山鹿市とのスポーツや文化活動などを通じて姉妹都市交流をはじめ、全国の忠臣蔵ゆかりの自治体との交流を推進します。

国際理解の推進については、国際交流協会と連携してロッキングハム市との姉妹都市交流を深めるとともに、A・L・Tと連携した国際理解教育及び国際理解サポーターの派遣などを実施するグローバル化教育を推進し、地域の国際化に努めます。

定住の促進については、「若者世帯住宅取得支援事業」を創設するほか、引き続き新婚世帯に対する賃貸住宅家賃の一部助成や、「転入者定住支援金」の交付による定住の促進と市内経済の活性化に努めます。

交流基盤の整備

公共交通の確保と利便性の向上については、市内循環バス「ゆらのすけ」と圏域バス「ていじゅうろうご」の

地域情報化の推進

行政事務の情報化については、「社会保障・税番号制

生活道路の整備については、磯浜橋歩道橋の新設や塩屋野中線歩道改良工事の実施設計のほか、都市計画道路の整備として、赤穂大橋線に係る用地買収・物件移転補償などを実施します。

また、国道2号バイパス部分の早期整備及び坂越大橋の完成を見据えた国道250号の改良工事について、国、県に引き続き要請し、事業の促進を図ります。



連携による運行を行うほか、デマンドタクシー等地域の実情にあった交通体系についてさらに検討します。

第4の柱

生涯にわたり夢を育むまちづくり

教育環境の整備

教育環境の整備については、教育振興基本計画(赤穂教育プラン)に基づき、総合的・計画的に推進します。

幼児教育の充実については、幼児を持つ家庭や地域との連携を深めるとともに、

度」が平成27年10月から市民への番号通知によって開始されることから、個人情報報のより適正な取り扱いによる行政事務の効率化を図るため、業務システムにおいても適正な運用に努め、「特定個人情報保護評価」の公表など、市民と行政が情報を共有することに努めます。

また、小・中学校におけるデジタル教材やインターネットなどを活用した情報教育を推進し、授業の活性化、児童生徒の情報活用能力の向上を図ります。

に、幼児の「生きる力」の基礎を育み、一人ひとりの発達や特性に応じたきめ細やかな教育を推進します。

義務教育の充実については、研修会等を通じた教職員の資質と指導力の向上を図り、基礎的・基本的内容を確実に定着させるなど、学力向上をめざす教育活動の充実を図ります。

また、社会体験やボランティア活動などを通じて勤労観・職業観を醸成し、将来への夢や希望を育むキャリア教育の推進に取り組みのほか、人権教育・道徳教育の充実に向け、救急救命や防災教育などを通じて命を大切にすることを進めます。

なお、いじめ問題を含めた非行防止のための施策としては、「第三者委員会」最終提言の実現と、市内中学校生徒徒会による主体的活動への支援など、地域全体で取り組めます。

特別支援教育の充実については、特別支援教育指導補助員を増員配置するほか、タブレットを活用した体験的な授業づくりの実践

など、障がいの特性に応じた適切な指導を行います。

また、信頼される学校園づくりとして、コミュニティ・スクール推進事業、「トライやる・ウィーク」推進事業、環境体験事業や中学生地域貢献活動推進事業などを通して、地域との絆を深め、地域と連携した学校園づくりを進めます。

安全・安心の確保及び若い力の健全育成としては、青少年育成推進委員や学校サポートチームと連携するとともに、関西福祉大学や関係機関との連携を図り、カウンセラーやこころの教室相談員の配置による教育相談活動の充実を図ります。

施設整備としては、塩屋小学校など4小学校及び赤穂中学校など3中学校において耐震対策補強工事を実施するほか、赤穂幼稚園など3幼稚園において園舎改築工事を行い、大規模地震への備えを着実に進めます。

また、大規模改造事業と合わせ、低炭素社会実現に向けた取組として、御崎小

施政方針にみる
新年度の主要施策と予算のあらまし

市民との協働
近年、市民の市政への関心が高くなっている中、市民と行政だけでなく、企業や各種団体、NPO、大学等との協働によるまちづくりについても推進していく必要があります。
このため、市政のあらゆる分野において、個人情報保護条例や情報公開条例の適正な運用に努めるとともに、様々な情報媒体を有効に活用しながら、市民と行政が情報を共有し、パブリックコメント制度、審議会等の委員の市民公募など、市民参加の機会を引き続き設けます。
行政情報の提供については、広報あこう、ホームページ及び早かごセミナーなどを積極的に活用し、広報機能の充実に努めるほか、開かれた市政を推進するため、私や職員が率先して地域に向いて、直接市民の皆様からの意見を聴く機会や場を設けます。
男女共同参画社会づくりについては、男女共同参画

学校、赤穂中学校に太陽光パネルを設置します。
さらに、デジタル教材等を活用した新たな授業を展開するため、小学校に続き、中学校の教室にデジタルテレビを設置します。
生涯学習・スポーツ活動の推進
中央公民館や各地区公民館を拠点として、体系的な生涯学習の場を提供するため、子ども教室などの各種講座を引き続き開催するほか、シニア世代の知識と経験を活用するため、新たにリーダー登録制度を設け、多様化する市民ニーズに応えます。また、耐震診断結果を受けて、市民会館耐震対策補強工事に向けて実施設計を行うほか、尾崎公民館耐震対策補強工事などを実施します。
子育て学習活動推進事業については、指導員を増員して、子育て悩み相談や子育てグループの育成を図るほか、各地区公民館での子育て出前講座を継続実施します。

社会づくり条例や第2次男女共同参画プランに基づき、全庁的な取組を総合的に展開します。
多様なコミュニティ活動の活性化
まちづくり活動の推進については、それぞれの地域の個性を生かした、「地区まちづくりビジョン」の実現に向けて、各地区での自発的なまちづくり活動を引き続き支援します。
健全で効率的な行財政運営
地方自治体を取り巻く環境が大きく変化する中で、多様化、高度化し、増大する市民ニーズを的確に把握し、果敢にチャレンジする行動力を身に付け、地域の諸課題を解決することが行政に求められています。
そのためには、職員一人ひとりが危機管理能力やコスト意識と経営感覚を身に付け、市民の皆様に質の高いサービスを提供していかねければなりません。
このため、職員の能力と

図書館については、子ども読書活動推進計画に基づき、絵本講座、ブックスタートル事業などの読書活動事業を引き続き実施し、子どもの読書環境の整備に努めるほか、ブック宅配サービスの継続実施や電子書籍の充実を図ります。なお、安全・安心な読書環境の整備として、新たに図書落下防止の対策を講じます。
スポーツ活動の推進については、スポーツ都市宣言を契機に、新たに整備されたスポーツ・レクリエーション施設をはじめ、恵まれたスポーツ環境を最大限に生かしながら、スポーツ推進計画に基づく事業を効率的・効果的に実施し、スポーツ先進都市の実現を目指したスポーツ活動の場と機会の充実に努めます。
生涯スポーツの推進については、体育協会、関係スポーツ団体の協力を得て、市民総合体育祭や各種スポーツ大会、スポーツ教室の開催などを支援するほか、地域におけるスポーツ・レクリエーションの普及に努めます。



また、スポーツの振興と交流機会の拡大を図るため、市長旗争奪少年野球大会を引き続き開催するほか、忠臣蔵旗少年剣道大会や赤穂義士杯青少年柔道大会などを継続実施するとともに、第5回赤穂シテイマラソン大会や坂越湾ヨットレース、義士旗争奪ゲートボール大会などの広域大会を開催して、赤穂の魅力と活気あふれる忠臣蔵のふるさと播州赤穂を全国に発信するとともに、スポーツによる元気なまちづくりを推進します。
さらに、市民総合体育館などの施設整備を実施するとともに、新たに地区体育

館9館の非構造部材耐震化に係る調査及び市民総合体育館の耐震診断などを行います。
個性ある地域文化の創造
歴史資源の保全・整備については、文化財保存整備事業として、引き続き赤穂城跡の二之丸石垣の整備などを行うほか、史跡土地買上げとして、指定地内民有地の取得を進めます。
文化財の保存活用については、埋蔵文化財の発掘調査や地域文化財調査、文化財顕彰事業のほか、有年考古館において引き続き特別展や企画展を開催するなど、積極的な公開と活用に取り組めます。

芸術文化活動の拠点施設としての文化会館は、市民の多様なニーズに応え、広く利用され交流の場となるよう運営に努めます。
鑑賞事業としては、MAY J. スプリングツァー2015、松竹大歌舞伎などを開催します。市民参加型事業としては、フェス



また、文化団体と連携しながら市民文化祭や美術展、観月会などを開催するほか、児童合唱団、勤労者芸術文化振興事業などの市民の芸術文化活動に支援を行います。

第5の柱
市民と行政が
ともに歩む
まちづくり



策定し、地方創生を推進します。
今後においても、厳しい行財政環境が続くことが予測されますが、市民の皆様と協働して「元気で魅力あふれるまち」を目指して全力を尽くしてまいりますので、格段のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

市民と行政がともに歩むまち ★印=新規(拡充)事業(1万円未満四捨五入)

- 市民との協働を推進する**
①開かれた市政を推進する
・高等教育機関連携推進事業 ……20万円
②市民と行政の情報共有を進める
★広報の充実 ……1,202万円
▷市政ニュース発行経費外
・情報公開・個人情報保護推進経費 ……54万円
・ホームページ運営経費 ……378万円
・窓口発ふるさと赤穂PR事業 ……20万円
③男女共同参画社会を築く
・男女共同参画社会づくり推進事業 ……208万円

- ・戸籍事務電算化事業 …… [再掲5,425円]
- ・市例規集情報化推進事業 …… [再掲970万円]
- ・情報基盤整備事業 …… [再掲4,532万円]
- ・固定資産評価資料作成事業 ……1,600万円
- ・徴収対策事業 ……1,095万円
- ・入札事務改善経費 ……154万円
- ・行政評価推進事業 ……34万円
- ★ふるさとづくり寄付金推進事業 ……124万円
▷ふるさとづくり寄付金特産品外
- ★公共施設等総合管理計画策定事業 ……1,700万円
▷固定資産台帳システム導入経費外
- ★総合計画(基本計画)見直し事業 ……590万円
▷基本計画見直し検討委員会開催経費外
- ★地方版総合戦略策定事業 ……1,000万円
▷総合戦略策定経費
- ★兵庫県議会議員選挙 ……1,440万円
▷平成27年6月10日 任期満了

- 多様なコミュニティ活動を活性化**
①多様なコミュニティ活動を活性化
する
・まちづくり振興協会補助金 ……2,680万円
・地区まちづくり支援事業 ……778万円
・集会施設設置事業 ……1,367万円
・コミュニティセンター等整備事業 ……85万円

- 健全で効率的な行財政運営を行う**
①健全で効率的な行財政運営を行う
・高度情報化推進事業 …… [再掲1億2,100万円]
・事務改善経費 …… [再掲2,350万円]

写真で見る予算

幼稚園舎改築事業



事業費 **15億9,800**万円
国庫支出金 **2億1,419**万円
市債 **10億7,060**万円
一般財源 **3億1,321**万円

地震等の自然災害から子どもたちを守るため、耐震補強が困難な赤穂・塩屋・尾崎幼稚園舎の改築工事に着手し、耐震化を推進します。

定住支援推進事業

事業費 **5,035**万円
一般財源 **5,035**万円



市内に住宅を取得する若者世帯への支援制度を創設し、転入世帯への住宅取得支援、新婚世帯への賃貸住宅家賃助成を継続実施することで、定住促進と地域活性化を図ります。

赤穂すこやかセンター整備事業



事業費 **7億6,360**万円
国庫支出金 **9,790**万円
市債 **5億5,750**万円
一般財源ほか **1億820**万円

健康づくりと子育て支援機能を備えた保健・福祉の総合拠点施設「赤穂すこやかセンター」の建設に着手し、子育て環境の一層の充実を図ります。

アフタースクール子ども育成事業

事業費 **3,754**万円
国庫支出金 **669**万円
県支出金 **669**万円
一般財源ほか **2,416**万円



対象学年を「小学校1年生～3年生」から「1年生～6年生」に広げるとともに、定員も増員し、子育て家庭への支援拡充を行います。

尾崎・御崎地区都市再生整備事業



事業費 **1億6,060**万円
国庫支出金 **5,150**万円
市債 **7,640**万円
一般財源ほか **3,270**万円

赤穂海浜スポーツセンターの供用開始のほか、(仮称)みなとひろばや唐船山遊歩道等の整備を進め、赤穂海浜公園を核としたスポーツ・レクリエーション拠点としての機能向上を図ります。

第3子いきいき子育て応援事業

事業費 **1,300**万円
一般財源 **1,300**万円



3人以上の子どもを養育する保護者に、出産祝金並びに小・中学校の入学祝金を支給することにより、子育て家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援の充実を図ります。

防災行政無線整備事業



事業費 **2億9,394**万円
国庫支出金 **1億4,671**万円
市債 **1億3,200**万円
一般財源 **1,523**万円

地震、津波、風水害等の自然災害から市民の生命、身体及び財産を守るため、引き続き防災行政無線整備を推進し、迅速・的確な情報伝達体制の整備を図ります。

市民憲章

わたくしたちの赤穂市は、播磨灘と千種川の清流にはぐくまれ、古い歴史と伝統をもつ、義士発祥のまちです。

このまちを愛するわたくしたちは、誇りと責任をもち、自然と調和のある豊かで希望にみちたふるさとづくりをめざし、ここに市民憲章を定めます。

1. 自然と歴史を大切にし、美しいまちをきずきます。
1. 教養を高め、文化の向上につとめます。
1. 健康で働き、明るい家庭をつくります。
1. 互いに助け合い、愛の輪をひろげます。
1. きまりを守り、秩序ある生活をおくれます。